

おとなせ ゆらい
○音無瀬の由来

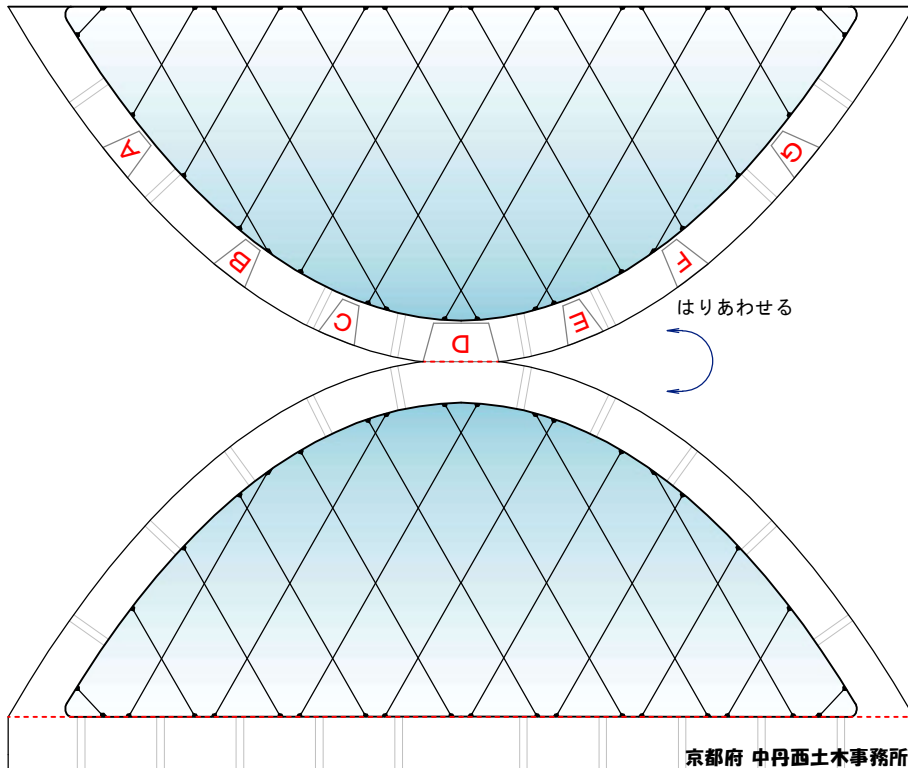
おとなせばし ふきん ゆらがわ かわめん ふだん おだ ひょうじょう
音無瀬橋の付近の由良川の川面は普段は穏やかな表情をみせています。この辺りを由良川の音無瀬川とよんでいました。まつおじんじや ふくちやましつち そな さかな と きんりょうく
松尾神社（福知山市土）に供える魚を捕るための禁漁区となっていて、一般の者が網を入れない静かな川であったから、このような名が付いたと伝えられています。

おとなせばし
○音無瀬橋

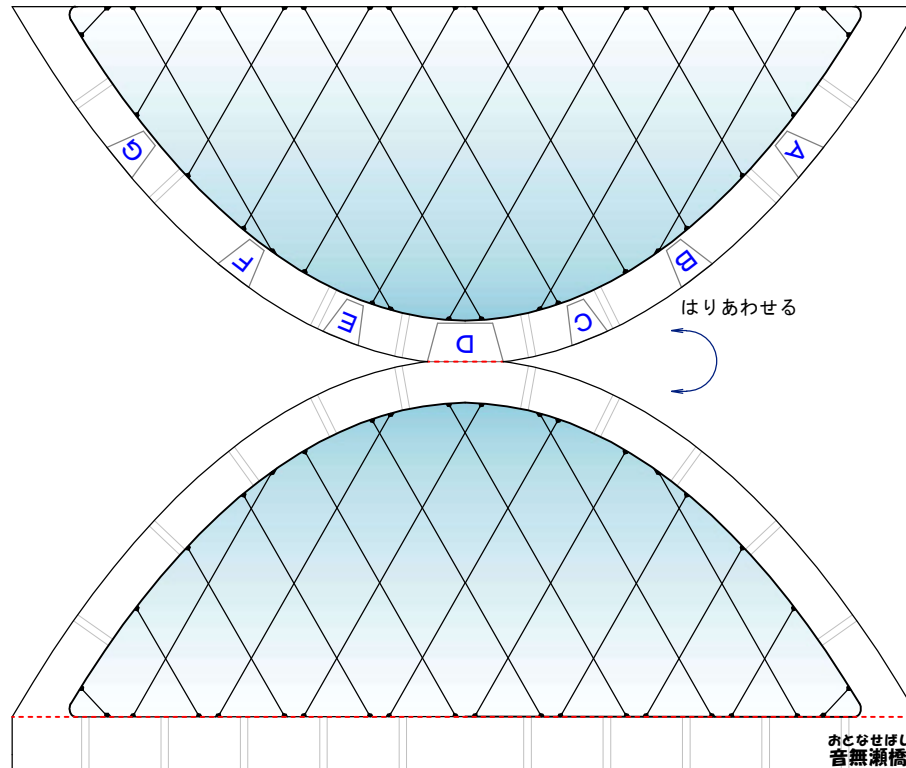
おとなせばし ふくちやまし うえやなぎまち いざき せんちよう
音無瀬橋は、福知山市の上柳町と猪崎をむすぶ全長478mのアーチ状の橋（ニールセンローゼ桁橋）です。めいじ ねん (1877年) 頃の初代板橋から数えて6代目（平成7年完成）にあたります。はんせいじだい ころづいじ
藩政時代は、洪水時に堤防に余計な水圧をかけないため橋を架けずに渡し舟で行き来していました。 (国土交通省 福知山河川国道事務所 「由良川風土記」より)



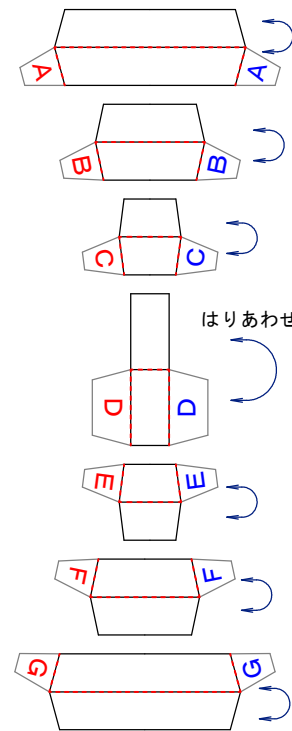
ひだり
①アーチ (左)






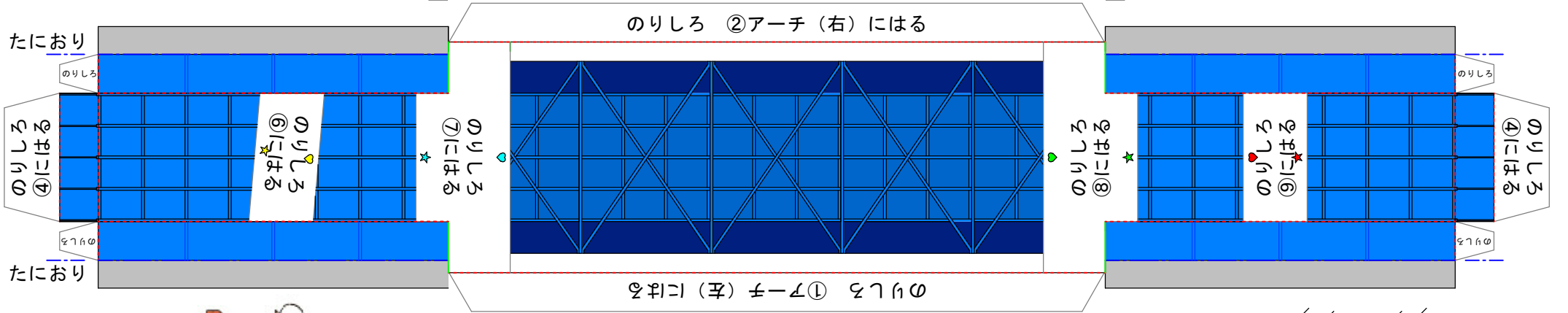
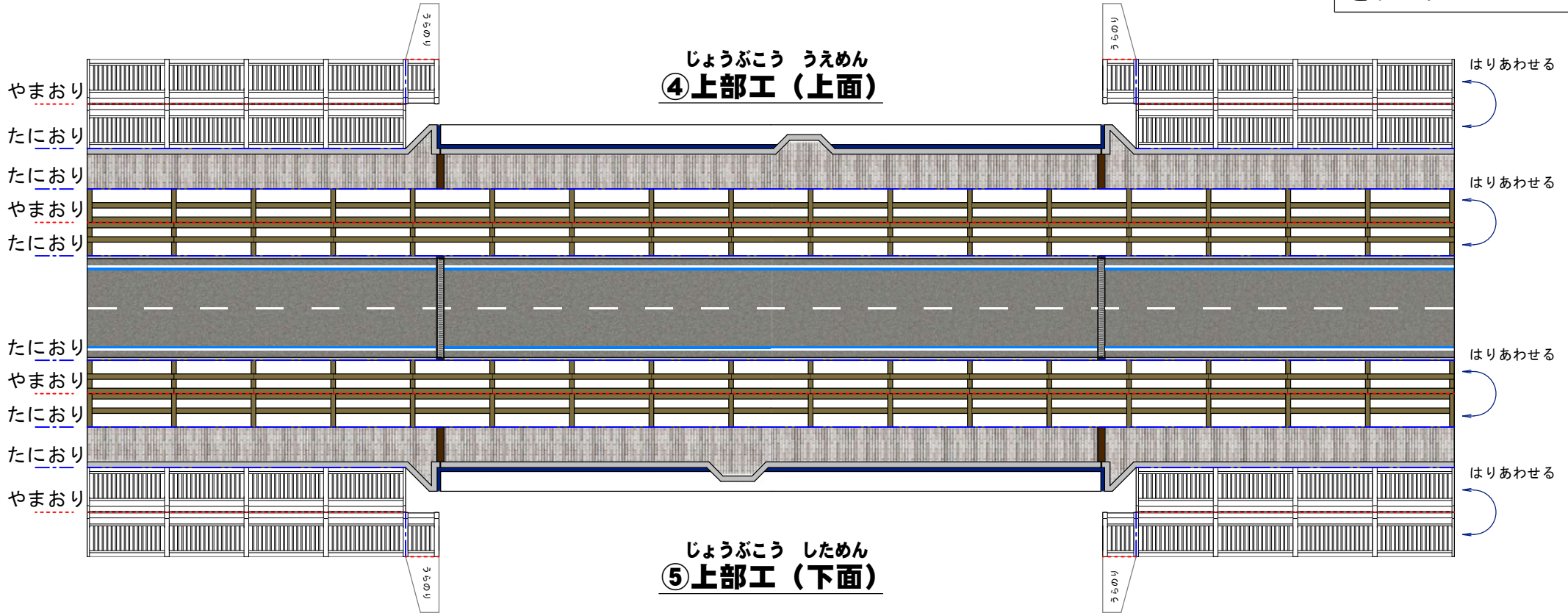
みぎ
②アーチ (右)



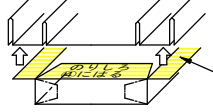
うえよこつな ざい
③上横繋ぎ材






やまおり 
 たにおり 
 きりこみ 



④上部工 (上面)
 ⑤上部工 (下面)



うらめんに
のりつけて
はりあわせる

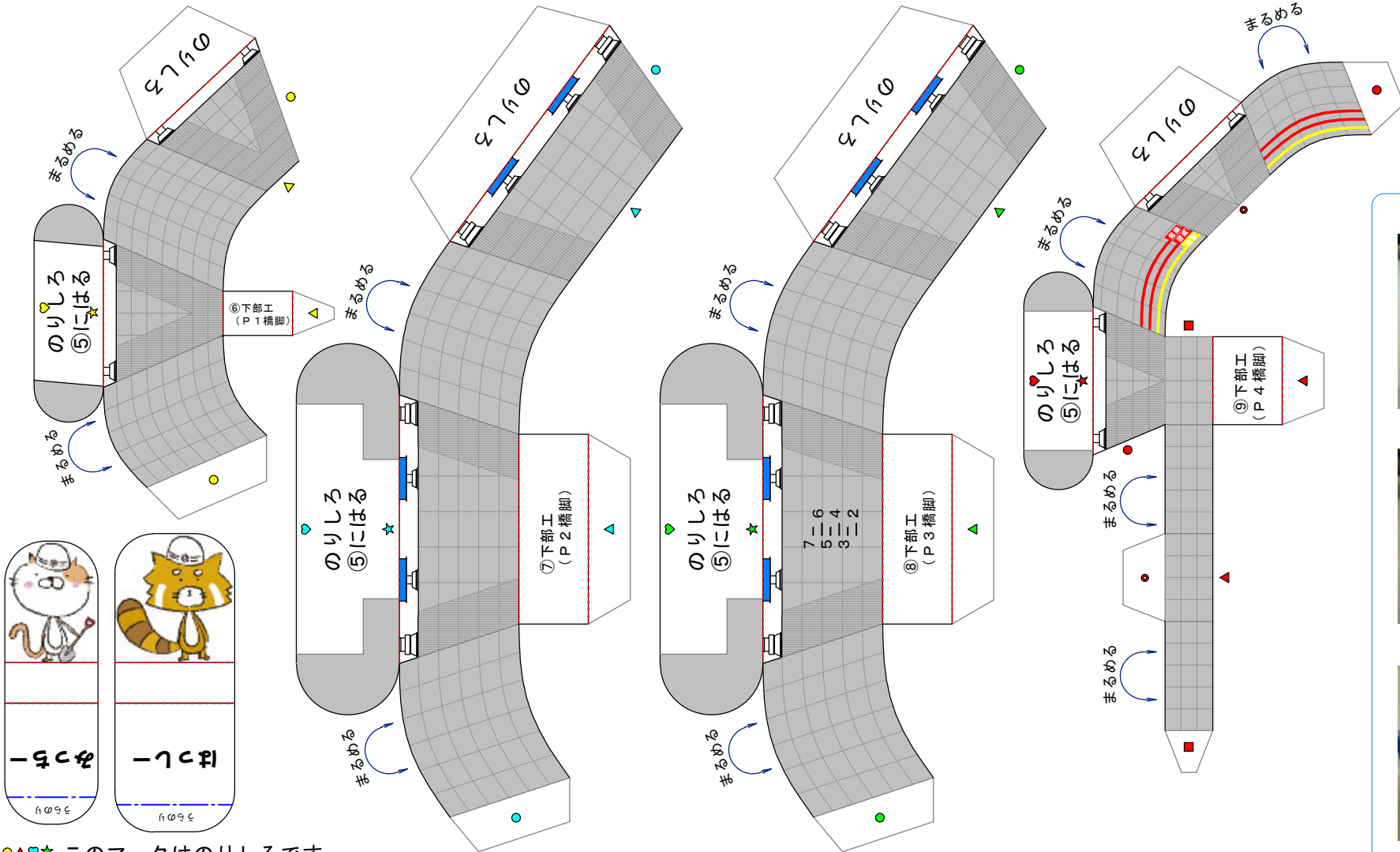
やまおり 
たにおり 
きりこみ 

かぶこう きょうきやく
⑥下部工 (P 1 橋脚)

かぶこう きょうきやく
⑦下部工 (P 2 橋脚)

かぶこう きょうきやく
⑧下部工 (P 3 橋脚)

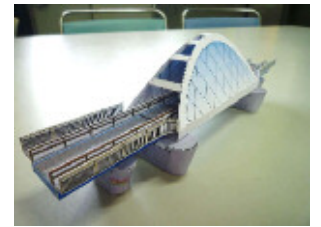
かぶこう きょうきやく
⑨下部工 (P 4 橋脚)



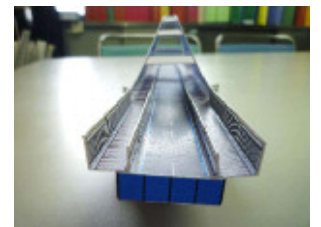
●▲♥☆ このマークはのりしろです。
おなじマークをあわせてはってください。



○完成イメージ○



全体図



上から見た図



下から見た図